

# ともに生きる

命・生き方

小学校高学年

中学校

高校

学級活動

道徳

NHKスペシャル

49分

ばっちゃん

～子どもたちが立ち直る居場所～

(2017年放送)

## この番組の良さ



### 非行の根っこは空腹にある

非行に走る子供たちに寄り添い、広島市で30年以上、その立ち直りを支えてきた“ばっちゃん”こと、元保護司の中本忠子（ちかこ）さん。「非行の根っこには空腹がある」と確信した中本さんは、自宅を開放し、手料理を振る舞い、親身になって相談にのり、多くの少年少女を更生させてきました。番組では、子供たちが中本さんの作る食事を通して、人生を取り戻していく過程を知ることができます。

### 更生や支援のあり方について考える

平成28年度に刑法犯罪で検挙された少年少女は4万人弱。うち再犯者の割合は約36%と18年連続で増え、過去最高を記録しています。格差の拡大や深刻化する貧困、育児放棄、世の中に広がる不寛容の空気は、青少年の健全な育成や更生を難しくしています。番組は、少年犯罪の現状や更生のあり方、非行に走る子供たちを支援する側の苦勞について考えるきっかけとなります。

## 番組活用のポイント

### ばっちゃんの子供たちを支える姿を通して

この番組は、中本さんが、子供たちに献身的に料理を作りながら相談にのる内容と、気にかけてきた少年“マコト”が、苦しみながらも更生していく内容の2つで構成されています。

中本さんの支援する様子は、特別の教科道徳の内容項目「B 主として人の関わりに関すること」、「7 親切、思いやり」を主な価値として学習することができます。よりよい人間関係を築く上で求められる基本姿勢として、相手に対する思いやりの心をもち親切にすることを、中本さんの姿から考えることができます。中本さんが、ご飯を食べに来たり電話をかけてきたりする子供たちに「えらかったえらかった」と声をかけてほめる様子は、一人一人を認め、肯定することにつながっています。そのような姿から、自分がどのように接し、対処することが相手のためになるのかを理解することができるでしょう。

### 更生にむけ努力するマコトの姿を通して

罪を犯し、知り合いが誰もいない土地で更生を目指すマコト。それを支えたのは、やはり“ばっちゃん”でした。

更生に向け努力するマコトの様子は、道徳の内容項目「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の新項目「4 よりよく生きる喜び」や、「A 主として自分自身に関すること」、「5 希望と勇気、努力と強い意志」などを主な価値として学習することができます。

中本さんの家や手作りの食事をかえがえのないものだと気付き、不安や自分の弱さと向き合い、働きながら保育士になる夢を持ち始めていく姿に着目させることで、自分を奮い立たせることが目指す生き方や誇りある生き方に近づけるといことや、よりよく生きる喜びを見いだすことの大切さについて考えさせることができます。

学習展開例

対象校種：小学校 授業時間 45分

対象教科：道徳



うるま市立  
川崎小学校  
教頭 甲斐 崇

新着

# 支援を続ける中本さんの思いとは？ 思いやりや親切について考える

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<p>病気の時に友達に保健室に連れていってもらった、ホッとした</p> <p>お年寄りの手助けをしたら、ありがとうと言われ、うれしかった</p>	<p>○これまでに誰かに優しくされた時や、自ら優しく接した時の様子や気持ちを聞く。</p>
<p> 中本さんが子供たちに食事を食べさせている様子の静止画（5分5秒） （一時停止状態でテレビを消しておいて、つける）</p>	<p>○5分5秒で一時停止させた状態でテレビをつけて、中本さんが子供たちに食事を食べさせている静止画を見せながら、中本さんが30年以上自宅を開放してご飯を作っている話をし、中本さんの思いを考えさせ、問いを生む。</p>
<p>中本さんは、どんな思いで子供たちに食事を作って食べさせているのだろうか？</p>	
<p><b>【自分のため】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がさびしくならないように</li> <li>得意の料理を楽しんでもらいたいから</li> </ul> <p><b>【子供たちのため】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親が食事を作ってくれない子供のため</li> <li>栄養をつけて元気な子供になってほしいから</li> </ul>	<p>○予想をノートに書き、発表する場を設定する。</p>
<p> 番組部分視聴（11分：開始～11分7秒）</p>	<p>○30年以上続けている中本さんの思いを考えながら視聴するよう助言する。</p>
<p><b>【中本さんの思い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お腹を空かせて犯罪に走らないよう子供たちを救いたい</li> <li>一人一人を認めてあげたい、話を聞いてあげたい</li> </ul> <p><b>【子供たちの思い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「えらかった」とほめてもらえる</li> <li>おいしい手料理が食べられる</li> <li>悩みや相談を聞いてもらえる</li> <li>自分を認め、励まし、叱ってくれる</li> </ul>	<p>○番組視聴後、中本さんの思いについて話し合う場を設定し、中本さんの思いと子供たちの思いを関係づけながら、中本さんのやさしさの効果が分かるように板書する。</p>
<p>中本さんは、さまざまな事情で助けを求めている子供たちに、食事を通して居場所を提供し、立ち直らせようとしている。そこには、子供たちを助けたい、立ち直らせたいという強い思いがある。</p>	<p>○子供たちの言葉をつなぎながら、中本さんの思いや願いをまとめるようにする。</p>
<p>自分も、他の人の気持ちを考えてやさしくしたい</p>	<p>○中本さんの姿から、自分たちがしたいことを考える場を設定する。</p>

児童生徒の思考の流れ